

報道機関各位

問い合わせ先:社会教育課 文化財係
担 当 者:猿渡・瓜生
連 絡 先:0944-32-9183

国指定重要無形民俗文化財

「大江の幸若舞」奉納上演

～国内唯一無二の舞を披露～

みやま市瀬高町大江に伝承されている「幸若舞」は、公式には「大頭流幸若舞」といい、現存する唯一の幸若舞として高く評価され、昭和51年に国指定重要無形民俗文化財に指定されています。現在は、毎年1月20日に五穀豊穡を祈願して、「幸若舞保存会」の人々によって奉納上演されます。

■日 時 令和6年1月20日(土) 開会式11:30～、上演12:00～

■場 所 みやま市瀬高町 大江天満神社境内「舞堂」

■演 目

| 曲 目 | 上 演 者 | 上演予定時刻 |
|---------|-----------|-------------|
| 濱 出 | 小学5年生(3名) | 12:00～12:25 |
| 濱 出 | 小学5年生(3名) | 12:30～12:55 |
| 日 本 記 | 小学6年生(3名) | 13:00～13:20 |
| 和泉ヶ城(三) | 成 人(3名) | 13:30～14:05 |
| 高 館(下) | 成 人(3名) | 14:15～14:40 |
| 夜討曾我(下) | 成 人(3名) | 14:50～15:25 |

【幸若舞とは】

幸若舞は、室町時代に発祥し、戦国大名に庇護されました。特に、織田信長をはじめ豊臣秀吉・徳川家康など、時の権力者が好みました。しかし、幕末になると、時代の流れや趣味の変化などにつれて次第に衰え、その発祥地の福井県丹生郡朝日町(現越前町)でも明治維新後に絶えました。福岡県みやま市瀬高町大江地区では、「大江のめえ」とよばれて昔の姿をそのままに伝えています。